

ひらかた

交通まちづくりワークショップだより2

発行：枚方市土木部土木総務課

発行日：平成 28 年 6 月 29 日

「枚方市の公共交通を体験しました！」

枚方市では交通分野でできることを明らかにし、将来の世代に責任の持てる持続可能な交通社会をめざす場として『ひらかた交通まちづくりワークショップ』を開催します。ワークショップは4回に渡り、第一回・第二回目は、市内交通の現状と課題を把握します。また現地調査で実際に市内交通を体験します。第三回・第四回目は、市内交通の課題解決の方針や改善案を考えていきます。毎回、どんな意見が出るか楽しみです。

①第二回ワークショップ

第二回目ワークショップは、「公共交通体験 現状と課題の見える化②」というテーマで、実際にバスに乗りながら、第一回目に出てきた「交通の良いところ・悪いところ」を体験しました。5月22日(日)に開催し、25名のみなさんにご参加いただきました。

当日は、実際に見て気が付いたことを率直に出し合い、更なる市内交通への理解を深める場となりました。

地図：現地調査の移動ルート

日時：平成 28 年 5 月 22 日(日)

9:30~12:00

場所：現地調査 及び
市役所別館 4 階会議室

参加人数：25 名

②第二回ワークショッププログラム

- 1) 枚方市駅に現地集合
- 2) 現地調査（公共交通体験）／2つのグループに分かれて、バスに乗り、1時間ほど市内の公共交通を体験しました。
- 3) 枚方市駅バスロータリーに到着後、駅構内を視察し、市役所にてグループワークを行いました。グループワークでは、第一回目の意見交換を振り返り、また現地調査を踏まえて、課題解決に向けた検討をしました。

③公共交通体験（現地調査）



写真：公共交通体験を開始！



写真：車いすなどによりバリアを検証



写真：歩道、自転車道、車道が明確



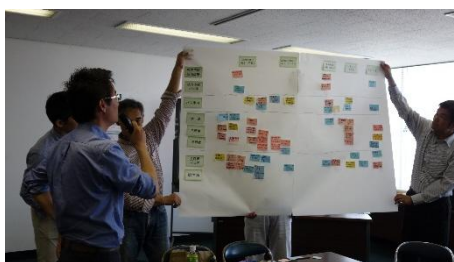
「公共交通体験」で見えてきた現状と課題について議論しました。

④グループワークで見える化

枚方市の公共交通を実際に体験した後、5つのグループに分かれて、『公共交通の新たな問題点など』を見つけ意見交換を行いました。



写真：グループワークの様子



写真：各グループからの発表の様子

各グループの結果

A 班：枚方市駅も長尾駅も使いやすいが、駅の周辺は歩道がなかったり狭かったりと危険。自転車が歩道を走ったり車道を走ったりしている。歩道や自転車レーンの整備がまだまだである。



B 班：枚方市駅周辺はバスが多く車が混み合っている。バス停についてはベンチや屋根のないバス停がある。バス車内のアナウンスは親切である。駅では下りのエスカレーターがないことが気になった。



C 班：バス車両も運転手も車いすに対応できていた。車いす使用者乗降中はバス後部に車いす表示が出る。バス停にベンチがないので、危険なところに座って待っている。



D 班：枚方市駅のEVやエスカレーターが見つけにくい。歩道が狭い道があり宣伝用の旗がはためいていた。並木も綺麗だが見通しを悪くしているところもあった。自転車道があると、人、自転車、車両が分かれていてすっきりしている。



E 班：歩行者、自転車道が整備されていてよかった。いくつかのバス停周辺で歩道が整備されていない。駅ではEVやエスカレーターの場所が分かりづらかった。



今回のワークショップでは公共交通の体験に加え、参加者に高齢者、障害者の体験をしていただきました。高齢者体験をした参加者からは「膝が曲がりにくく、座席に座れなかったので、バスの中に寄りかかる場所があればよかった。」という意見がありました。

第三回ワークショップについて

日時：平成 28 年 7 月 30 日(土)
 テーマ：市内交通の課題の解決方針と改善案を考える①／第一回・第二回で出た問題点等の整理

【ワークショップ問い合わせ先】

担当：枚方市 土木部 土木総務課
 〒573-8666 枚方市大垣内町 2 丁目 1-20
 TEL：050-7102-6505（直通）
 FAX：072-841-4605
 E-mail：dsoumu@city.hirakata.osaka.jp